【 診療科:血液内科】
【 レジメン登録番号:IG-88 】

〈 DLd療法 〉

【1～2コース】

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)																										
			1	2	･･･	8	9	･･･	15	16	･･･	21	22	23	･･･	28													
デキサート	16.5mg/body/day	div	○			○			○				○																
ダラザレックス	16mg/kg	div	○			○			○				○																
レナデックス錠	20mg/body/day	p.o.		○			○			○				○															
レブラミド	25mg	p.o.	○		･･･			･･･			･･･	○																	

【3～6コース】

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)																										
			1	2	･･･	8	9	･･･	15	16	･･･	21	22	23	･･･	28													
デキサート	16.5mg/body/day	div	○						○																				
ダラザレックス	16mg/kg	div	○						○																				
レナデックス錠	20mg/body/day	p.o.		○		○	○			○			○	○															
レブラミド	25mg	p.o.	○		･･･			･･･			･･･	○																	

【7コース以降】

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)																										
			1	2	･･･	8	9	･･･	15	16	･･･	21	22	23	･･･	28													
デキサート	16.5mg/body/day	div	○																										
ダラザレックス	16mg/kg	div	○																										
レナデックス錠	20mg/body/day	p.o.		○		○	○			○			○	○															
レブラミド	25mg	p.o.	○		･･･			･･･			･･･	○																	

【1コース期間:28日】　　【総コース数:制限無し】

【適応癌種:多発性骨髄腫　】

【時期: 術前 、 術後 、 手術不能・進行・再発】

【1～2コース】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)	投与日
Rp.1	ﾃﾞｷｻｰﾄ 16.5mg/body ﾎﾞﾗﾗﾐﾝ 1A 生食 100mL	div※1 (1時間で)	day1,8,15,22
Rp.2	ダラザレックス 16mg/kg 生理食塩水※2	div※3	day1,8,15,22
Rp.3	レナデックス錠 20mg/body	分1 p.o.(朝食後)	day2,9,16,23
Rp.4	レブラミド 25mg	分1 p.o.(朝食後)	day1～21

【3～6コース】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)	投与日
Rp.1	ﾃﾞｷｻｰﾄ 16.5mg/body ﾎﾞﾗﾗﾐﾝ 1A 生食 100mL	div※1 (1時間で)	day1,15
Rp.2	ダラザレックス 16mg/kg 生理食塩水※2	div※3	day1,15
Rp.3	レナデックス錠 20mg/body	分1 p.o.(朝食後)	day2,8,9,16,22,23
Rp.4	レブラミド 25mg	p.o.(分1)	day1～21

【7コース以降】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)	投与日
Rp.1	ﾃﾞｷｻｰﾄ 16.5mg/body ﾎﾞﾗﾗﾐﾝ 1A 生食 100mL	div※1 (1時間で)	day1
Rp.2	ダラザレックス 16mg/kg 生理食塩水※2	div※3	day1
Rp.3	レナデックス錠 20mg/body	分1 p.o.(朝食後)	day2,8,9,15,16,22,23
Rp.4	レブラミド 25mg	分1 p.o.(朝食後)	day1～21

【参考文献:N Engl J Med 2016;375:754-66
【備考:ダラザレックスは0.2ミクロン以下のインラインフィルターを通して投与すること。
【備考:ダラザレックスは輸注ポンプを用いて投与すること。 】
【備考:デキサート注は静脈内投与が不可の場合のみレナデックス錠の経口投与でも可能。
【備考※1:デキサメタゾン、抗ヒスタミン剤及びアセトアミノフェン1000mg、モンテルカスト錠10mgの前投薬(ダラザレックス投与の1時間前)を行う。】
【備考※2:初回は希釈後の総量が1000mL、忍容性がよければ2回目以降総量500mLになるよう調整してもよい。
【備考※3:投与速度は添付文書参照。
【変法情報:デキサート注は、デキサメタゾンリン酸エステルとして20mg 】